



# 関西支部報

http://jac.or.jp/kns/

## 行く年来る年

茂木完治

今年は何んという年であったろうか。まさにコロナに始まりコロナで終わりそうだ。そんな年を振り返り来る年への思いを述べてみたい。

1月から始まった新型コロナウイルス流行が、日本でも3月には不気味な様相を呈してきた。3月の役員会で当面の行事の禁止を決め、4月の総会も書面による開催という異例の事態となった。いったん下火になったものの、8月に第2波が来て、遠藤京子(旧姓佐藤)氏にお願いした山の日講演会を中止せざるを得なかった。小康状態の10月に自然保護全国集会を関西支部主管で開催することができたのは幸いであった。

しかし、11月からさらに大きな第3波が始まった。180号でフラム号に乗って北極点を目指したナンセンの気持ちになって耐えようと書いたが、いよいよその状況になってきた。

一方、時間ができたおかげでよかったこともあった。関西支部について考える時間が持てたことである。



ネパール・ランタン流域トリスリ谷のゴルジュ  
写真：茂木完治

構成や山行の分析を行い、アンケート調査を行った。その報告は今号に掲載しているのを見ていただきたい。アンケートの回答率が15%ではなにもわからないとの意見もある。しかし、関西支部を真剣に考えておられるコアな方々の意見である

と思えば襟を正さねばならない。

今回の調査結果について私見を述べたい。年齢構成についてアンケートから見えたことがある。登山経験年数が20~30年の人に対し10~20年が多い。また入会年数は10~20年に対し10年以下が多い。回答率が少なすぎるので速断はできないが、登山経験20年以下で入会年数10年以下の方々の意識が高く、今後中核となるであろう。

山行で言えることは岩登り、沢登り、アイスクライミングなどのバリエーション的登山への願望である。海外についてもトレッキングや6000mクラスの山に登りたいという思いが見て取れる。7000mクラスがないのはちょっと寂しくもあったが。

また山行形態でハイキングへの偏りと担当者の偏りが明らかになった。担当してくれる人を増やして山行に変化を与え、かつバリエーション的登山を増やす必要を感じる。若い人たちが憧れる日本アルプスなどの登山も実施しなければならない。そのためには岩場トレーニングが欠かせない。トレーニングの場を設けることで人が集まり、仲間の輪が広がる効果も期待できる。大きな山を目指すにはどうしても仲間が必要である。互いに学びあい支えあう関係を作りたい。

### 目次

行く年来る年	茂木完治	1
アンケート調査結果報告	茂木完治、黒田記代	2
支部山行報告		4
▽ポンポン山〜大沢峠▽須磨アルプス▽		
大峰・白川又川本流▽立山・別山▽日		
笠山▽大峰・白川又川本谷▽高野三山		
▽音羽山〜倉谷山		
個人山行(2020年7月〜9月)		9
本山寺山森林づくりの会活動報告		9
令和2年度自然保護全国集會報告	武田壽夫	9
会務報告		12
ルーム目録		14
新入会員・会友紹介		14
山行委員会行事案内		14
自然保護行事案内		17
編集後記		18

今回のアンケートで6000mクラスの山に登りたいと思っておられる方がいることに感動した。これはぜひともやらねばならないと思った次第である。関西支部80周年記念事業でヒマラヤのナンガマリⅡ峰6209mに登ったが、ヒマラヤは実に素晴らしかった。この経験を若い人たちに伝えたい。

ヒマラヤでもう一つ魅力的なものを見つけた。それは沢である。未記録の谷が無数にあるネパールは沢登りの宝庫であることは間違いないがまだ誰も気づいていないのだ。みんな山の頂に目を奪われているからやむを得ないが……。ナンガマリから帰ってから私はネパールで2回ほど標高差2000mの谷の沢登りを試みていずれも敗退した。未記録の魅力もあるが、溪谷は村人たちの狩、放牧、薬草採り、薪採りといった生活の場であり、人文学的研究価値もありそうだ。トレッキングにしてもビジネス化されたルートでなく村人の巡礼路のようなものを自前で考えるのがおもしろそうだ。

あと5年もすると90周年である。それに焦点を合わせて6000m級の未踏峰、沢、トレッキングを3点セットでできないだろうか。1年で全部は無理なので数年に分け



2016年、ナンガマリⅡ峰頂上直下の雪稜を登る 写真：茂木完治

て行ってもよいだろう。それぞれ自分のやりたいことをやればよい。それにしても山の選定と訓練を考えれば5年はあつという間である。登るならもう準備を始めないと間に合わないタイミングだ。人の輪を作り夢のある90周年を目指したいと思う。

最後になりましたが、皆様も新型コロナに感染せぬように気を付けられて、よい新年を迎えられることをお祈り申し上げます。

## アンケート調査結果報告

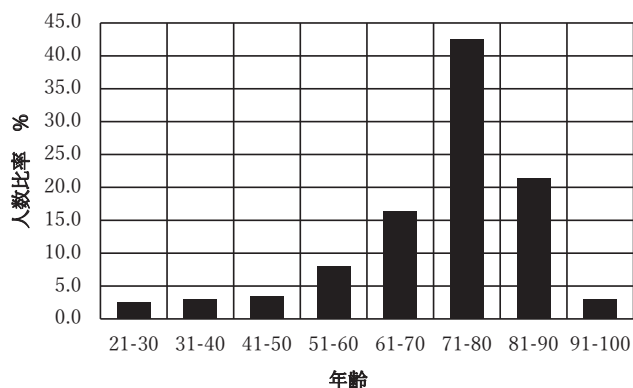
支部長 茂木完治  
山行担当理事 黒田記代

新しい役員、委員が増える中で関西支部にどんな方がおられるのかわからないという意見が出てきました。そこで会員状況と登山嗜好を把握するためのアンケートを6月発行の支部報(180号)に同封し36件の回答をいただきました。その分析結果を報告いたします。

### 1. 背景

#### (1) 会員数の状況

アンケートの発送は会員、準会員、会友含めて230人でした。



#### ① 年齢構成

左図のように70代をピークとした高齢者に偏った分布です。平均年齢は71歳で、20代、30代、40代の占める割合はそれぞれ3%で90代の割合と同じです。つまり50歳以下の会員が極めて少ないという特徴があります。

#### ② 会員数の男女比

男性77%、女性23%。

#### (2) 例会

2019年度支部山行は①4000山グランプリ12回、②ゆるやか山行9回、③しっかり歩こう8回、④月例会5回、⑤六甲山を歩く5回、⑥新人歓迎1回、⑦沢登り1回、⑧比良山系を歩く1回、⑨陽だまり山行1回、⑩海外山行1回、⑪わんぱく探検1回で合計11テーマ、45回の山行がありました。(登山教室は除外しています)

8テーマがハイキングで3テーマがバリエーション的登山でした。

45回の支部山行のうち33回を3名のリーダーに頼っていました。

2. アンケート結果

(1) 年代別回答率

36件のうち50歳以下は0件、50代が11%(2件)、60代が28%(11件)、70代以上が15%(23件)で全年齢平均15%でした。70代以上の回答数は多いですが回答率は平均と同じ15%でした。60代の回答率は28%と高かった。50歳以下の回答0件は回答率の誤差の範囲なので当たり前といえるかもしれません。

年齢	回答者数(人)	回答率(%)
21-50	0	0.0
51-60	2	10.5
61-70	11	28.2
71以上	23	14.5
合計	36	15.1

(2) 回答率の男女差

全男性会員の15%、全女性会員の17%で差はありませんでした。

(3) 登山経験と入会年数

登山経験年数				
	10年以下	10~20年	20~30年	30年以上
51~60歳	0	2	0	0
61~70歳	1	2	0	7
71歳以上	2	3	2	16
合計	3	7	2	23

① 登山経験

30年以上と20年以下に二極化していました。

② 入会年数

10年以下が18人で新しい人が多くアンケートに答えてくれました。

(4) 過去1年間の登山とやりたい登山の比較

過去1年間のやった登山とこれからやりたい登山を比較しました。やったに對してやりたい

	入会年数		
	10年以下	10~20年	20年以上
51~60歳	2	0	0
61~70歳	8	2	1
71歳以上	11	4	10
合計	18	6	11

が増しているのは積雪期国内2000m以上、海外登山ではトレッキングと3500-7000m、岩登り、沢登り、アイスクライミング、山スキー、スケッチ山行でした。バリエーション登山への潜在的要望が強いです。

3. 結論

全会員の15%の回答率ではありましたが、これは関西支部の核をなす方々のご意見であると思います。背景にある支部の実情と照合することで山行の方向性が見えたと考えます。これを参考にしてよりよい関西支部を目指して努力したいと考えます。改めて回答いただいた方々に篤く御礼申し上げます。

		50歳以下(0人)		51歳~60歳(2人)		61歳~70歳(11人)		71歳以上(23人)		合計(36人)	
		やった	やりたい	やった	やりたい	やった	やりたい	やった	やりたい	やった	やりたい
国内 無雪期	千m以下	0	0	2	2	11	9	20	14	33	25
	千~二千m	0	0	1	1	10	10	13	12	24	23
	二千m以上	0	0	2	2	10	11	11	6	23	19
国内 積雪期	千m以下	0	0	2	2	9	10	5	4	16	16
	千~二千m	0	0	2	1	9	10	6	4	17	15
	二千m以上	0	0	2	2	3	8	3	2	8	12
海外	トレッキング	0	0	2	0	4	6	5	9	11	15
	3500-7000m	0	0	0	2	2	3	3	5	5	10
	7000m以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	岩登り	0	0	2	2	1	4	2	2	5	8
	沢登り	0	0	2	2	5	6	3	5	10	13
	アイスクライミング	0	0	1	2	0	3	1	0	2	5
スキー	山スキー	0	0	1	1	1	3	2	2	4	6
	ゲレンデスキー	0	0	1	1	2	3	4	3	7	7
	スケッチ山行	0	0	0	0	0	1	0	2	0	3
	写真山行	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2



# 支部山行報告

支部山行20-11 しっかり歩こう

「本山寺からポンポン山・釈迦岳・大沢峠」

関戸京子

7月4日(土)雨

今日は待ちに待った日だった。コロナで自粛要請が出されていた山歩きや県をまたいでの移動もやっと解禁となり心おきなく登山が楽しめることとなった。

高槻駅に集合し、バスで川久保に向かう。9時40分に川久保をスタートした。水量の多くなった川久保溪谷にそって林道を歩く。このまま谷筋をすすみ水声の道を経てポンポン山に直登する予定だった。今回の谷筋は行きも帰りも倒木が多く、特に下りは跨いだり這いつくばって進むアドベンチャーコースと聞いていた。

ところが、東海自然歩道の分岐ですれ違った作業トラックの運転手さんから、「これ以上通れない、左折して東海自然歩道に行くように。」と言われた。ここ2・3日の大雨で土砂崩れが起き、道路崩壊し多くの重機が入っているとのことで通行不能だと判明した。やむを得ず東海自然歩道から本山寺を経るコースに急遽変更する。東海自然歩道は倒木が少しあったものの思ったより整備されており雨と木々で薄暗い。ところが急にあたりが明るくなり、「随分変わった」と歓声が上がった。ここは天狗杉と呼ばれるポイント(639m)で、以前は大きな杉が繁っていて暗かったらしい。

お昼頃ポンポン山の頂上に到着したが三角点がなかなか見つからない。目を凝らすと石がうず高くケルン状に積み重ねてありその奥に埋もれていた。雨と風が相当強いので木陰でそそくさとお昼をすませ釈迦岳に向かう。相変わらず雨はやみそうにない。

このまま予定通り大沢に降りるかどうか思案した。道に迷っていないかと地図を確認しながら「あーだ、こーだ」と皆で現在地を特定するのも楽しい。そのうち標識



ポンポン山 三角点はどこだ? 写真提供: 山内幸子

を見つけ、予定通りのコースを歩いていることが分かり安心する。

大沢峠から大沢に下り予定のルートは通れないのでギロバチ峠から一般道を通り尺代に降りた。尺代の集落を突き抜け、山道から若山神社へ登り返し境内のテントで着替えさせてもらった。

今日は東海自然歩道を多く歩くことになったが、自粛明けの足慣らしとしては十分だった。それにしても「午後から雨があがる」とは当てにならない予報だった。

本格的な夏に向けて、体力を戻して、また山に登ろう。

【コースタイム】

川久保バス停9:40~10:06本山寺林道分岐10:13~11:24 P  
63911:27~12:02ポンポン山12:35~13:03釈迦岳13:06~13:  
51大沢峠14:02~14:26大沢~14:44ギロバチ峠14:47~15:  
51尺代・若山神社登り口~16:10若山神社16:50~16:55若  
山台バス停

【参加者】

山内幸子、久保和恵、黒田記代、永井和、深沢優子、宗  
實二郎、関戸京子 計7名

支部山行20-13 月例会(7月)

「須磨アルプス懐で“そーめんパーティー”」

青木 昭

7月19日(日)晴

7月の例会を企画して欲しい、暑くなりそうなので歩く距離は出来るだけ短くとの要望があったので勝手ながら青木の家で面白そうなコースを、また途中では須磨の名水でそーめんパーティーをしようと企画したところ、10名の参加を頂き楽しい1日となりました。

梅雨の合間でお天気が心配でしたが、良い天気。10時に妙法寺駅を出発、縦走路入口で体操の後、東山を目指すが何しろ暑く、急登の連続でリーダーの青木が熱中症でバテバテ。休み休みで馬の背で写真撮影、横尾の長い階段の登りも何とかやり過ごし、水野への分岐に着きました。ここからは踏み跡程度しかない面白いルートをご案内、須磨森の名水が湧き出る本日のパーティー会場に到着。ネギ、生姜、海苔、天かす、他色々なトッピング、そーめんは1人3束。美味しくお腹いっぱいになり凹んでいた体力も随分回復しました。

帰りは須磨離宮に沿って進み、山陽月見山駅で解散と

なりました。



「須磨森の名水」前で“そうめんパーティー”写真提供：前田正彰

**【コースタイム】**

地下鉄西神線妙法寺駅10:04～東山～馬の背～12:12横尾山～12:32水野町分岐～13:00そうめん会場14:22～14:47天皇の池～15:30山陽電鉄月見山駅

**【参加者】**

青木昭、黒田記代、久保和恵、山内幸子、永井和、池尻英明、岡野武司、橋本圭之輔、前田正彰、茂木完治、横山規江 計11名

支部山行20-14 沢登り例会  
**「大峰・白川又川本流ゴルジュのキャニオニング」**

中久保忠伸

8月1日(土)～2日(日)を日程変更した

**8月29日(土)晴**

R169号線の白川橋手前に車をおいて、太陽がジリジリと照りつける中、白川又川林道を歩く。林道は、取水口の上までは車が通行できる程度であるが、途中でゲートがあり一般車は通行できない。取水口下降点を過ぎる



本流ゴルジュ 写真：中久保忠伸

と林道が崩壊しており山側へ大きく迂回を強いられ、荒れ放題の林道歩きにかわる。トンネルを二つ過ぎると道は大黒構谷に沿って大きく迂回してから本流沿いへもどる。昨年秋に来た時の大黒構谷沿いのテント場を過ぎてさらに進み、小黒構谷の支

流と林道が出合う場所を今日のテント場とする。

**8月30日(日)晴**

テント場を7時に出発、昨日夕方に雨が降ったものの今日の天気は良い。林道終点から、本流へ向けて下降にかかる、急なガレ場沿いに古く黒ずんだ切れそうなフィックスロープがあり、それを頼りに石を落としながら下ると本流のフジノトコ上流に降り立つ。ウエットスーツに着替えザックを浮袋にして下る。林道終点からの下降に時間を要したためにこのまま本流ゴルジュへ下降しても時間切れなので、アンノ谷の東尾根を登り小谷川林道へ下ることに決定。濡れて重くなったザックを背負っての道無き尾根の登りはきつい、大拇山下の林道到着が18時で小谷川林道ゲート到着が20時30頃だった。

**【コースタイム】**

29日 白川10:30～取水口下降点13:40～大黒構谷15:00～テント場16:30

30日 テント場7:00～林道終点8:00～本流10:45～アンノ谷出合13:30～林道16:55～大拇山下林道分岐18:00～小谷川林道ゲート20:30

**【参加者】**

茂木完治、豊田哲也、山田昌孝、立野里織、中久保忠伸 計5名

**支部山行20-15 夏山合宿**

**「立山・別山」**

茂木完治

初の夏山合宿として北アルプスの鹿島槍ヶ岳縦走を計画していたが、新型コロナの流行により大幅な計画変更を余儀なくされ、テント泊による立山、剣岳登山に計画を変更した。台風により残念ながら3日目に下山したが、互いに教え、教えられる合宿方式の良さを改めて感じさせてくれた山行だった。

**8月8日(土)曇時々雨**

富山駅で集合して富山地方鉄道に乗った。思えばこの線に乗るのは40年ぶりであった。立山駅でケーブルに乗り換えて美女平へ。室堂でバスから降りると新型コロナのストレスから解放されてほっとしたものを感じた。雷鳥沢キャンプ場の混雑を心配していたが、空いていて好きな所にテントを張ることができた。

**8月9日(日)曇時々雨**

今日の前定は立山縦走である。キャンプ場から別山乗越へ登ると雨、風であった。合羽を着て別山南峰に登り北峰を往復した。北峰にも昔は祠があったらしいが今は



なかった。雨と風がひどく寒かったので無理せずに縦走を中止して別山乗越へ戻った。指がかじかんで鉛の袋を開けられずナイフで切ろうとするもナイフを開くにも難儀した。キャンプ場へ戻り温泉へ漬かって人心地をつけた。夕方から天候は回復傾向であったが、台風が日本海通過する情報が入り今後の計画を議論した。過去に日本海通過台風で痛い目にあった人が多いのか、無理せずに翌日下山しようという意見が多勢であった。

#### 8月10日(月)曇後晴

キャンプ場を後にして室堂に戻りそこで解散した。



別山北峰の頂上にて 写真提供：豊田哲也

#### 【コースタイム】

8日 室堂バスセンター13:43～13:56みくりが池温泉13:58～14:16雷鳥荘～14:32雷鳥沢キャンプ場(泊)

9日 雷鳥沢キャンプ場6:40～8:29別山乗越(剣御前小舎) 8:59～9:31別山南峰9:42～9:53別山北峰9:57～10:06別山南峰10:17～10:41剣御前小舎11:03～12:26雷鳥沢キャンプ場(泊)

10日 雷鳥沢キャンプ場6:59～7:27雷鳥荘～8:00みくりが池～8:12室堂バスセンター

#### 【参加者】

茂木完治、永井和、深澤優子、山内優祐、漣俊樹、中久保忠伸、豊田哲也、江村俊也、柴田美生子 計9名

支部山行20-17 月例会(9月)  
「日笠山～一本松縦走」

関戸京子

#### 9月13日(日)晴

今日は超低山の縦走。CLを仰せつかり、初めての事に驚愕の中にも嬉しい興奮があり万全を期そうと望んだ。播磨灘の陽光を浴びて、時間も気にせず、危険個所もない山歩きの道を選んだ。

集合は山陽曾根駅。駅より徒歩5分の曾根天満宮は菅原道真公を祭神としている。道真公が無実の罪で大宰府

へ左遷道中で、伊保港より日笠山へ登り、「我に罪なくば栄よ」と松を植えられた。霊松曾根の松で、その巨大な老木がこの天満宮に保管されている。その前で準備体操をして出発。住吉橋を渡り、室町時代中期、尼さんが一生涯かけて刻んだ黒岩十三仏に立ち寄るも風化が激しい。住宅街を抜けて山側へと進むと程なく、標高62mの日笠山(4等三角点、点名日笠山)に到着。高砂市民憩いの場であり、道真公が座られた腰掛岩も大事に柵が設けられている。

いよいよ山道へ。竹林を抜け急登をしのぐと夫婦岩の北山。雄岩から少し離れたところに転がっている雌岩。この微妙な距離が夫婦模様、現実的との声。山道は一旦30m下って40m登り返して大北山。また45m下り、馬坂峠。行商の十字路に爽やかな風、大休止の後、下山(しもやま)へ。中筋山は巻いて、大塩城址。マスクの人、タオルで顔を覆う人、距離を開ける人、時節柄それぞれに工夫しながら、展望の良い赤山へ。1時間弱の昼食時間となる。

午後からは、なだらかな六本松山、しかし1本も残っていない地肌の山頂。ここから「息切れの坂」を下り、本日一番の登りをこなして、最高峰136mの一本松へ。途中、北側に展望が開け、桶居山～高御位山山塊が連なり、眼下を山陽新幹線が走り去る雄姿にも見惚れる。一本松山頂上には、4等三角点、点名北脇が埋まる。ここより海側へ3分の展望台へ。海を眺め、ベンチに座り、心地よい風も吹いて、時を忘れて動けず。

その後は亀岩でも展望を楽しみ、イタチ山からは小さな山を二・三つ越えて、大谷峠より右折してヤブに突入。高度を下げる急坂に竹林の不安定な足場をやり過ぎとコンクリート道に飛び出る。無事、JR姫路別所駅到着。

#### 【コースタイム】

山陽曾根駅9:30～曾根天満宮9:52～日笠山10:15～夫婦岩(北山)10:40～大北山～馬坂峠11:14～下山～大塩城址11:30～赤山12:40～六本松～一本松13:05～イタチ山13:45～大谷峠～JR姫路別所駅14:36



亀岩にて 写真提供：浦上芳啓

**【参加者】**

岡田輝子、茂木完治、新本政子、浦上芳啓、黒田記代、  
中島隆、橋本圭之輔、前田正彰、松村竹次郎、松村文子、  
山崎詮、岡野武司、池尻英明、高木知子、田中アキエ、  
野村康、播戸日出生、横山規江 計18名

**支部山行20-18 沢登り例会  
「大峰・白川又川本谷」**

中久保忠伸

**9月19日(土)晴**

行者還トンネル西口駐車場に車をデポしてから、小谷川林道のゲート前に車をおいて出発する。

2週間前に下った林道、登山道を登り返して、アンノ谷東尾根を下り本流との出合に降り立つ。フジノトコ手前の河原でビバーク。

**9月20日(日)曇**

昨夜は満天の星も、朝は雨が降っている中での出発。フジノトコを過ぎて進むと先日下ってきたゴルジュと釜が行く手を遮る。ここは泳いで突破。すぐに中ノ又谷が大水量の滝となって出合うのを見送り先へ進む。へつりや泳ぎ、胸までのつかりなどを繰り返しながら進むと、やがて火吹谷が左岸から出合う。入り口は狭く右奥へ深く入り込み不気味な様相である。さらに進むと前方に赤い壁が見えてきた。ここから100mぐらいは兩岸に赤い壁があり、上には湧水帯でもあるのか赤壁を滝となって落ちている。その様子が、素晴らしい景観を創り出している。赤壁のゴルジュを過ぎると大滝のおでましである。大水量が右から左へ斜めに落ちて、広く大きく深い釜をもっている。兩岸が壁で左岸の小さなルンゼを流れ落ちる沢に沿って登ると、簡単に巻けた。その上が台地となっている。おそらく笹の平であろう。いいテント場なので、ここを今日のねぐらとする。

**9月21日(月)晴**

前日に水晶谷出合まで行くことができなかったので、ルートを水晶谷に変更して出発。

昨日同様に巻きと懸垂を交えながら進む。水晶谷出合までは、左岸に柚道らしきものがあったり、なかったりを使用しながら進む。記録によると、大昔林道らしきものがあったのでその名残と思われる。やがて、水晶谷に入り、ゴーロ帯を進む。ここも左岸樹林帯と谷を交互に繰り返しながら進むと、水もなくなり途中から尾根にとりつく。ぐんぐん高度を上げるとやがて奥駈道の弁天の森の西に到着する。弁天の森を経由して西口駐車場へ下

山する。



大滝 写真：中久保忠伸

**【コースタイム】**

19日 小谷川林道ゲート10:45～大榎山下林道分岐13:30～  
林道下降点14:15～アンノ谷出合16:00～ビバーク地16:30  
20日 出発6:30～中ノ又谷出合9:5～大滝15:00～笹の平  
16:00  
21日 出発6:00～水晶谷上流8:15～稜線14:30～弁天の森  
14:30～西口駐車場16:30

**【参加者】**

茂木完治、豊田哲也、小黒節郎、立野里織、関戸京子、  
中久保忠伸 計6名

**支部山行20-19 ゆるやか山行 歴史と文化を訪ねて  
「女人道一高野三山巡り」**

新本政子

**9月24日(木)曇時々雨**

辛くも台風の進路も逸れて、コロナ禍で中止を余儀なくされていた「ゆるやか山行」が、ようやく決行された。早春2月以来の久しぶりのお仲間との再会とあって、曇り空の下ながら気分は晴れやか。

南海電車の高野山世界遺産切符を手に極楽橋から急勾配のケーブルを乗り継いで、真言密教の聖地高野山駅に賑やかに集った。今日は平均年齢76歳の19名が、弘法大師の御廟を囲む高野三山を巡る。ほぼ貸し切り状態のバスで本日の起点奥ノ院BSで下車し、久保リーダーからコロナ対応等の注意を受けて準備体操後、御廟の東の摩尼山を目指して出発した。思いのほか蒸し暑く摩尼峠よりの急登に一汗かいて、如意輪観音菩薩の祠がある摩尼山頂に到着。尾根づたいに北へと進み、黒河峠へ下る途中で雨が降りだした。峠のお地藏様へのご挨拶もそこそこにもう一頑張りして楊柳山。1008mの三等三角点は楊柳観世音菩薩の祠の裏に鎮座していた。木陰で雨を凌ぎ





楊柳山山頂 昼食後のひととき 写真提供：久保和恵

ながら落ち着かない昼食を済まして粉撞峠へと下って小休止。峠の道標には子継峠とあった。高野七道の一つ、橋本からの黒河道が黒河峠と粉撞峠へと通じている。雨も小止みとなり、なだらかな道を細流に沿って南に下り一本杉を見て車道に出る。弥勒菩薩を祀るという転軸山へと登り直して、15時、御殿川の飛び石を渡り御廟境内に入った。今も弘法大師が瞑想されておられる清浄荘厳な奥ノ院御廟を汚れた山靴で行くことに戸惑いながら、灯籠堂にお参りする。南無遍照金剛！ 女人禁制の往時に比べなんと傍若無人とお大師様も呆れておられるかと申し訳なく思いつつ参道を下る。年を経た杉の大樹のもと名だたる大名墓碑を巡りながら一の橋に下ったグループと、起点奥ノ院BSに帰着したグループはバスで合流し、16時21分揃って無事に高野山を後にした。

#### 【コースタイム】

奥ノ院前BS10:35～10:58摩尼峠11:15～11:25摩尼山11:37～11:51黒川峠12:12～12:16楊柳山12:32～13:10粉撞峠13:36～13:42転軸山14:19～14:38～奥ノ院BS15:56

#### 【参加者】

久保和恵、山内幸子、新本政子、黒田記代、薦田佳一、坂口和子、田中昌二郎、橋本圭之輔、廣瀬健三、深澤優子、松村文子、森沢義信、秋月修次、黒岩敦子、小林三喜男、田中アキエ、淡野隆久、播戸日出生、横山規江

計19名

支部山行20-20 しっかり歩こう

「南矢代～音羽山～白髪岳～松尾山～寺谷山・倉谷山」

深澤優子

#### 9月26日(土)曇

JR福知山線南矢代駅に9時集合。昨日の雨があがって、まずまずの山行日和で、駅の北東に見える鉄塔を目指して歩き始めました。国道沿いのライブハウス横の登山口からお墓の並ぶ坂を登りました。結構急な道で、コロナ

禍で鈍った体からは汗がしたり落ちます。間もなく駅からみえた鉄塔に到着。先ほどの駅が小さく見えます。なだらかな登り道を歩くと大沢城跡・火とぼし山の分岐点に到着し、火とぼし山方向に向かう。火とぼし山からは佐幾山砦跡にも行けるようです。更に30分ほど歩き、音羽山に到着。このころには雲も薄くなり、三角点付近からは篠山の町や遠くの北摂の山々が望めました。尾根道を歩き肩越の辻へ出て白髪岳に向かって西に進みトラバース道から頂上を目指します。稜線と合流したら「あと100メートル登ります」との声にドキッとして見上げると、かなりの急登で、しかも岩場です。道の両側にロープが張られていて、そのロープをたよりにヨッコラショと登りました。

山頂につくと360度の大展望が望めました。先日登った大船山、三田富士、先ほど巻いた松尾山は目の前です。この見晴らし台での昼食となりました。

午後689のポイントを通るルートを取り鐘掛の辻めざして出発。松尾山に登りました。山頂には松尾山(酒井城跡)の文字がありここも山城だったようです。

尾根を直に南下すれば寺谷山を通りJR古市駅に進めるとのことで、地図とコンパスを頼りに下山しました。山中の尾根道を1時間ほど下ると寺谷山に到着。頂上付近からは先程登った白髪山が望めました。丹波富士の名があるそうです。道なき道をさらに下ると農地に出ました。ところが、すぐ下に線路があるというのにバリアがあっていけないのです。難路を潜り抜け、駅に到着したら日はかなり西に傾いていました。



白髪岳頂上 写真：深澤優子

#### 【コースタイム】

南矢代駅9:10～10:23火とぼし山～10:53音羽山～11:41肩越の辻～12:25白髪岳13:05～13:50鐘掛の辻～14:20松尾山～15:56寺谷山～16:13倉谷山～16:57JR古市駅

#### 【参加者】

山内幸子、久保和恵、黒田記代、松仲史郎、深澤優子

計5名



## 個人山行(2020年7月～9月)

安全委員会に提出された個人山行登山計画書

7月2日	北摂 竜王山・最勝ヶ岳	8月15日	大峰山脈 大普賢岳
7月2日	台高山脈支稜 迷岳	8月20日	高見山地 三峰山
7月5日	京都北山 清滝川・毘沙門谷	8月22日	広島県 黒滝山～白滝山
7月16日	兵庫県 三室山	8月23日～25日	北アルプス立山連峰 大日岳・奥大日岳
7月24日	長野県 飯綱山	8月29日	大阪府 金剛山
7月25日	長野県 菅平・四阿山	8月29日	高見山地 明神岳
7月26日	中国山地東部 青倉山	8月30日	岡山県 熊山・尺八山・大滝山・医王山
8月1日	高見山地 三峰山	9月6日	大阪府 金剛山・水越谷支流丸滝谷
8月1日～2日	八ヶ岳 美濃戸山荘～赤岳鉦泉	9月6日～8日	屋久島トレッキング
8月7日～15日	信州の山を巡る	9月13日～15日	立山連峰 毛勝山・僧ヶ岳
8月12日	京都東山 比叡山	9月15日	京都市 地蔵山・愛宕山
8月12日～13日	北アルプス 大日岳	9月19日～22日	北海道 積丹シシヤモナイ大滝
8月13日	大峰山脈 大天井ヶ岳	9月20日	泉南 モトドリ山～平山
8月14日	唐松岳	9月21日～22日	鳥取北部 雁金山・金峯山・二上山・稲葉山
8月14日～15日	赤目・倶留尊高原 学能堂山	9月22日	大阪府 金剛山
		9月27日	六甲山 蓬莱峡
		9月30日～10月1日	福井県 赤兎山・裏赤兎山・大舟山

### 6～9月「本山寺山森林づくりの会」活動報告

武田壽夫

日時：2020(令和2)年6月4日(木)9:30～15:30

気象：晴

活動エリア：44林班ろ

活動内容：新しい整備予定地区で本格作業への準備など  
(活動範囲の確認、移動ルート(尾根筋・里道)の整備、ほか)

参加者：猪川誠、石原順子、斧田一陽、黒山泰弘、倉谷邦雄、薦田佳一、武田壽夫、中村賢三、宮本廣、山田真也、山本國夫 計11名

日時：2020(令和2)年6月21日(日)9:30～15:30

気象：晴

活動エリア：44林班ろ

活動内容：林床整備、歩道整備、域内巡視、総会開催

参加者：猪川誠、泉家恵子、大本孝子、斧田一陽、小櫃徹夫、河瀬宗憲、倉谷邦雄、黒山泰弘、河野直子、越野雅美、小鶴道栄、薦田佳一、武田壽夫、中村賢三、宮本廣、茂木完治、福西勇之助、山田真也、山本國夫、体験1名 会員19名+体験

1名

計20名

日時：2020(令和2)年7月2日(木)9:30～15:30

気象：晴

活動エリア：44林班い、東海自然歩道

活動内容：林床整備・風倒木処理、歩道整備

参加者：猪川誠、石原順子、泉家恵子、内海宏一、斧田一陽、倉谷邦雄、越野雅美、薦田佳一、武田壽夫、中村賢三、宮本廣、山田真也、山本國夫 計13名

日時：2020(令和2)年7月19日(日)9:30～15:00

気象：晴

活動エリア：44林班ろ、東海自然歩道

活動内容：作業道整備(風倒木処理、落枝整理)、自然歩道の水切り整備

参加者：斧田一陽、小櫃徹夫、倉谷邦雄、黒山泰弘、越野雅美、武田壽夫、中村賢三、宮本廣、山田真也、山本國夫 計10名

日時：2020(令和2)年8月06日(木)9:30～15:00

気象：晴

活動エリア：44林班い、東海自然歩道

活動内容：風倒木処理、落枝整理、自然歩道の本段整備

参加者：猪川誠、石原順子、内海宏一、斧田一陽、工藤貴士、倉谷邦雄、黒山泰弘、越野雅美、武田壽夫、中村賢三、宮本廣、山田真也、山本國夫  
計13名

日時：2020(令和2)年8月23日(日)9:30～15:00

気象：晴(作業小屋での気温32℃)

活動エリア：45林班に-01(作業小屋周辺と西斜面)、

活動内容：枯損木・過密広葉樹除伐、林床整備

参加者：猪川誠、内海宏一(午前)、大本孝子、斧田一陽、黒山泰弘、越野雅美、武田壽夫、宮本廣、福西勇之助、山本國夫  
計10名

日時：2020(令和2)年9月10日(木)9:30～14:30

気象：雨後曇

活動エリア：44林班ろ

活動内容：作業道整備(枯損木・倒木処理、林床整備)

参加者：猪川誠、石原順子、内海宏一(午前)、斧田一陽、工藤貴士、倉谷邦雄、黒山泰弘、薦田佳一、武田壽夫、中村賢三  
計10名

日時：2020(令和2)年9月20日(日)9:30～16:00

気象：曇

活動エリア：44林班は-02

活動内容：倒木除伐、林床整備、作業道整備

参加者：猪川誠、石原順子、斧田一陽、倉谷邦雄、武田壽夫、中村賢三、宮本廣、山田真也、山本國夫  
計9名

### 東お多福山ススキ草原復元活動報告

田島聖子

2020年9月30日(水)9:30～14:00

気象：曇

実施項目：全面刈り準備

作業内容：全面刈りの準備と刈払い済ネザサの積場所付近の刈取り

参加者：斧田一陽、田島聖子  
計2名

## 令和2年度 自然保護全国集会報告

日時 令和2年10月24日(土)～25日(日)

会場 奈良県吉野町吉野山「太鼓判花夢花夢」

テーマ：吉野に学ぶ持続可能な自然との共生

【はじめに】

◆自然保護委員会より協力要請があり、吉野開催を提案する。7月上旬実施の処、コロナ禍で3ヶ月遅れの開催となった。JAC古野会長はじめ東は群馬、西は広島と各地の会員36名(内関西17名\*、高尾のもりづくり2名)が参集した。講師お三方からは、山と歩み、修行の場ともされてきた吉野の山のお話を頂き、フィールドワークではAコースは大峯奥駈道の碑が建つ青根ヶ峰の往復、Bコースは南北朝所縁の社寺から蔵王堂の御開帳を拝観す



中井章太吉野町長のお話を拝聴 写真：武田壽夫

る二つの吉野を満喫頂いた。

\*関西の17名中、本山寺山森林づくりの会からの参加は10名

【スケジュール】

10月24日

開会 13:30 (古野淳会長、中井章太吉野町長ご挨拶ののち)

講演 14:55～17:05

1. 「吉野林業と山林管理について」中井章太吉野町長(吉野の山守七代目中新木材代表)
2. 「吉野の桜」福井良盟氏(公財吉野山保勝会副理事長竹林院院主)
3. 「登拝の心～吉野大峯の山々でご開祖に靡く」田中岳良氏(金峯山寺奥駈総奉行芳山一佛堂住職)

支部活動報告 17:15～18:15

懇親会 18:30～20:30

10月25日 フィールドワーク 8:30出発～14:00解散

◆講演要旨、支部報告フィールドワークの概要は以下の通り



## I. 講演要旨

### 1. 「吉野林業と山林管理について」中井章太吉野町町長

町の人口6700人、森林は総面積の80%(79km<sup>2</sup>)。人工林率80%。世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を控えている。環境省の「ウッドスタート宣言」に呼応し「生涯木育」をスローガンに次の時代へと歩み出している。

人工造林の始まりは1500年頃、城郭の用材に。江戸時代には、密な年輪の特性から、細い間伐材の「銭丸太」、樹齢80年超の酒樽用材(樽丸)と用途を拡大。

吉野林業の特徴は①自然環境と苗木の密植多間伐・長伐期の育林技術、②伐採技術と葉枯らし乾燥、③人工林500年の歴史と300年前から森林づくりを担ってきた「山守」制度がある。均一な年輪幅の優れた強度の優良材を育ててきた。

森林は蔵王権現の桜にも係わりが深い。古くは本田静六博士の「吉野山の櫻制復活と寄進植え」の声があり、これに応え「桜と杉」を守った土倉庄三郎は代表的功勞者である。勿論、木材価格の下落、度重なる台風など、厳しい環境悪化にも見舞われている。こうした中、一番大事に考えているのが「技術の継承」、次の担い手を育てると言うこと。異分野との連携を強め、フォレスターが育つことを願っている。

吉野林業地帯を含む2町5村は日本遺産に、「大台ヶ原・大峰山・大杉谷ユネスコエコパーク」の認定も受けている。今後とも、山を育て、次代に繋いでいきたい。

### 2. 「吉野の桜」福井良盟師(吉野山勝会副理事長)

桜は蔵王権現のご神木、吉野は、南に熊野、北は飛鳥・京、西は高野山、東は伊勢神宮と、天地・自然と人間文明の交点である。保勝会は役行者所縁の「シロヤマザクラ」を植えている。

小学校の宿題はサクランボ収集と近くの歌碑の書き写し。吉野の桜を愛で、育てた人達の記念碑だ。その代表を新しい時代から辿ると、まず「桜守」の笹部新太郎博士、私財を出して桜を守った土倉庄三郎、桜を大和心に譬えた本居宣長とその門人加茂真淵がいる。遡って秀吉は大花見で戦国の終りを演出、この時は日頃は雨乞をする修験者達が好天を祈ったそうだ。「願はくは花の下にて春死なむ」と詠んだ西行法師と新古今に「さくら花散りぬる風の」を残した紀貫之も忘れてはならない。

古く記紀の時代には役行者と木花咲耶姫がいた。

### 3. 「登拝の心～吉野大峯の山々でご開祖に靡く」

田中岳良師(金峯山寺奥駈総奉行)

吉野・大峯の山々は踏み進むと神仏を身近に感じる。登拝と登山は似て非なるもの、神仏を感じながら登るの

か、山があるから登るのかの違いは大きい。修験道は大峯に登るのではなく「山上に参る」と言う。

参拝は一步一步が修行の道場。山は仏身そのもの、山頂は踏まず、巻いて進む。山上ヶ岳でも役行者が蔵王大権現を感じたとされる山頂の湧出岩は踏むこと許されない。道は「汚さない・傷めない・新たな道は作らない」が大原則。

修験道は、人間の歩みは自然の中にあると考える自然崇拜。開祖は役行者、本尊の金剛蔵王権現は釈迦・千手観音・弥勒菩薩の三尊合体。そして、修験者とは修行して呪術を身に着けた人のこと。山に入ることを「山林料藪(トソウ)修行」という。奥駈道120kmは、廃仏毀釈で損なわれた場所はあるが、古来、東西8丁、靡き8丁は禁足地とされていて自然のままに守るべきエリアである。

大峯奥駈道は吉野川の柳の渡しから熊野本宮まで170km、擬死再生の修行の場なのである。

## II. 支部報告

◆静岡支部から「リニア新幹線トンネル工事の環境への影響」、広島支部から「風力発電開発問題」の提起があった。

(文責 武田壽夫)

## III. フィールドワーク

### Aコース：奥千本～上千本

秋晴れの澄んだ空気の中、バスで義経隠れ塔の下まで入る。ストレッチの後、ゆっくりと山道を隠れ堂に上る。暑くもなく寒くもなし。金峯神社へお参りの後、古道の面影を漂わせた奥駈道の石畳を登る。宝塔院跡まで来ると景色も開け山桜の植林地が大規模に広がる。女人結界の碑から僅かの登りで青根ヶ峰へ登頂。短い距離とはいえピークに登れて皆さん満足そう。休憩の後、奥千本を目指す。四方正面堂跡では向かいの山に鹿がいた。高城山にて昼食、宿の弁当も竹を編んだ入れ物も好評。丁度紅葉が綺麗だった。途中吉野水分神社参拝と花矢倉の景



奥千本～上千本 写真：豊田哲也

色を眺めて奥吉野のウォーキングを楽しく終えた。

### 【コース】

義経隠れ塔下林道(8:40スタート)—義経隠れ塔—金峰神社—安禅寺蔵王堂跡—青根ヶ峰—旧女人結界の碑—四方正面堂跡—苔清水—西行庵—高城山展望台(昼食)—吉野水分神社—花矢倉—太鼓判花夢花夢(解散13:00)

### 【参加者】

[副会長] 坂井広志、[群馬] 小暮幸弘、[神奈川] 中山茂樹、[静岡] 大島康弘、[京都滋賀] 幣内規男、伊原哲士、[広島] 斎陽、西岡義則、山本矢須登、[高尾の森づくりの会] 吉川正幸、松川征夫、[自然保護委員会] 下野武志、下田俊幸、[関西] 豊田哲也、薦田佳一、中久保忠伸、水谷透、辻和雄

計19名

(文責 豊田哲也)

### Bコース：中千本～下千本

敷島の和心を人間はば 朝日に匂ふ山桜花

本居宣長

天高く蒼く澄んだ霊山の冷気が心地よい。癒しの宿・太鼓判花夢花夢を8時半出発。

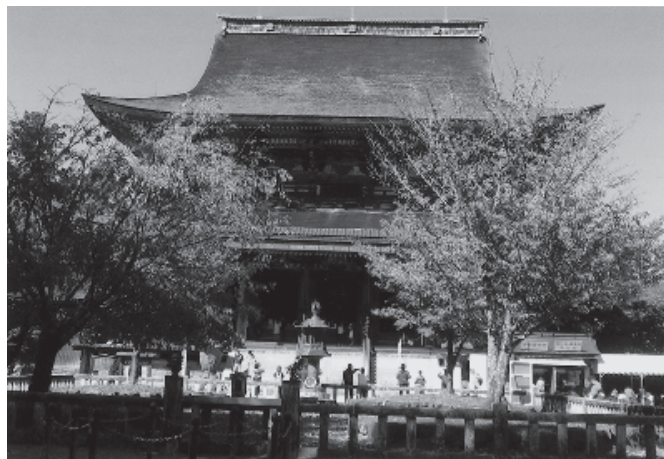
まずは最寄りの竹林院・桜本坊へ。竹林院群芳園では、池畔の枝垂れ桜や園路伝いに開けた景観に魅せられる。喜蔵院・振袖山・勝手神社を経て、桜皮葺書院もゆかしい吉水神社へ。秀吉が花の宴を張った境内から、桜紅葉の中千本を遠望する。

南朝哀史を刻む意輪寺は、車で十数分の道程。隧道を抜けると、中千本の眺望が一挙に広がる。山桜の紅葉が美しい。まずは後醍醐天皇陵に拝礼。夢破れし「滅びの美学」にしばし感動！ 南朝の哀感漂う境内を後に、石段の参道を下り、草生す小径を辿って五郎平茶屋で昼食。

韋駄天山展望台から、金峯山寺蔵王堂の勇壮な大伽藍を望む。蔵王堂では、目下秘仏本尊・金剛蔵王大権現特

別開帳中。内陣の高天井を支える柱の多くは、粗削りな原木に近い部材が用いられている。修験道総本山の憤怒の形相猛々しい秘仏参拝後は、吉野朝宮跡・仁王門経由で両側に家並み連なる道を銅の鳥居から黒門へ。アサギマダラを誘う店先の鉢植え藤袴に和まされる。

「桜の頃はさぞかし！」と思いながら紅葉の下千本七曲りを下って、滞りなく14時近鉄吉野駅解散。コロナ禍でも人も少なく、心に染み入る中秋の道連れ・道草旅でした。



金峰山寺蔵王堂 写真：中谷絹子

### 【コース】

太鼓判花夢花夢(8:30スタート)—竹林院—桜本坊—喜蔵院—振袖山—勝手神社—吉水神社=(車)=中千本(如意輪寺・後醍醐天皇陵)—五郎平茶屋(昼食)—韋駄天山—金峯山寺蔵王堂—吉野朝宮跡—仁王門—銅の鳥居—黒門—下千本(七曲り)—近鉄吉野駅(解散14:00)

### 【参加者】

新本政子、飯田邦幸、石原順子、井藤恵美子、岡田輝子、斧田一陽、金井良領、河野直子、白鳥勝治、田島聖子、谷内剛、中谷絹子、西田智子、橋本圭之輔、古野淳、茂木完治

計16名

(文責 中谷絹子)





## Room目録(2020年/8月～9月)

8月4日 支部事務処理	8月26日 安全委員会	9月16日 支部報発送
5日 役員会	30日 支部事務処理	役員会
18日 支部事務処理	31日 支部事務処理	19日 支部事務処理
19日 支部事務処理	9月1日 支部事務処理	25日 自然保護委員会
20日 支部事務処理	3日 支部事務処理	26日 支部合同会議(リモート)
21日 支部事務処理	8日 支部報製本届	30日 山行委員会
14日 支部事務処理	14日 登山文化研究会	山行ひろば
25日 支部事務処理	15日 支部事務処理	



## 2021年1月～3月 山行委員会行事案内

### 20-37 陽だまり山行

姫路の山「朝日山から檀特山(ダントクサン)165m」  
 日 時：1月6日(水) 雨天順延1月7日(木)  
 集 合：JR網干駅改札口 9時30分  
 コース：網干駅～4等糸井44m～朝日山88m～4等檀  
 特山165m～朝日山公園～網干駅  
 地 図：2.5万分の1「網干」  
 備 考：ささやかな新年のお祝いをしますので当日実  
 費徴収します。  
 申込み：12月25日(金)迄(担当：山内幸子)

### 20-38 雪稜シリーズ①

江村さん担当で雪稜シリーズ山行を開始します。  
 2021年5月ゴールデンウイーク後(日程未定)、残雪期  
 の日本アルプス(行先未定)へ行く事を目指してのステッ  
 プアップ山行です。残雪期の日本アルプスに参加希望の  
 人は雪稜シリーズ山行に参加が必須です。参加者の体力・  
 技術・経験により選考あり。追加で個別訓練山行も考え  
 ています。詳細については江村さんに問合せ下さい。  
 江村俊也：tobi.osaka@me.com  
 残雪期山行に不参加でも、雪稜シリーズに参加可能で

※後尾に申込み先連絡先掲載【いずれも締切厳守】  
 す。申込締切日が早くなっています。ご注意ください。

「両白山地 経ヶ岳」  
 日 時：1月10日(日)～11日(祝・月)  
 備 考：テント泊。スノーシューやワカンが活躍する  
 山行。詳細は申込者に連絡します。  
 申込み：12月26日(土)迄(担当：江村俊也)

### 20-39 月例会(1月)

「金剛山・紅葉谷の氷瀑」  
 日 時：1月16日(土)  
 集 合：近鉄富田林駅南改札口 8:00  
 コース：水越峠～カヤンボ～(紅葉谷道)～第6堰堤～  
 金剛山頂～  
 地 図：2.5万分の1「御所」  
 備 考：前日に冷えれば、金剛山で数少ない氷瀑が見  
 れます。難しい所はありません。  
 アイゼン必携、一般的な冬山装備要。  
 申込み：1月8日(金)迄(担当：辻 和雄)

### 20-40 沢登り例会

「高槻・本山寺の檜尾川(初級)」  
 日 時：1月17日(日)



集 合：JR高槻駅北口 7:50  
 7:57発 原大橋行バスに乗車  
 コース：神峰山寺～檜尾川～480mピーク～本山時山  
 森林づくり活動に参加(PM3:00まで)  
 地 図：2.5万分の1「高槻」「法貴」  
 備 考：沢登り終了後は森林づくりに合流する。  
 沢登り所要時間：4時間  
 申込み：1月10日(日)迄(担当：茂木完治)

**20-41 岩場トレーニング**

「六甲山・蓬萊峡」  
 日 時：1月24日(日)  
 集 合：阪急宝塚駅前バスターミナル 9:00  
 (冬季バス運休のためタクシーで行きます)  
 備 考：岩登り(担当：江村)、岩場歩き(担当：茂木)  
 申込み：1月17日(日)迄(担当：茂木完治)

**20-42 ゆるやか山行【里山探訪2】歴史と文化を訪ねて**

「甘南備山 雌山201.6m・雄山221m」京田辺、枚方市  
 境の山  
 日 時：1月28日(木)  
 集 合：JR京田辺駅西口前 9時  
 コース：JR京田辺駅～一休寺～登山道石柱～登山口  
 ～昆虫の森分岐～雌山～雄山～展望台～雄山  
 ～甘南備寺跡～管理道～登山道石柱～JR京  
 田辺駅

地 図：2.5万分の1「田辺」「枚方」  
 備 考：歩行距離約9km 歩行時間約4時間  
 申込み：1月19日(火)迄(担当：久保和恵)

**20-43 しっかり歩こう**

比良山系「雪の蛇谷ヶ峰から富坂尾根」  
 日 時：1月31日(日)  
 集 合：湖西線近江高島駅 8時55分  
 9時03分発のバスに乗車  
 コース：畑～須川峠～蛇谷ヶ峰～富坂尾根～富坂口バ  
 ス停  
 地 図：2.5万分の1「北小松」  
 備 考：雪山ですのでアイゼン・ワカン・スノーシュ  
 ー等必携  
 申込み：1月22日(金)迄(担当：山内幸子)

**20-44 沢登り例会**

「生駒山の箕後川(初級)」  
 日 時：2月7日(日)  
 集 合：近鉄瓢箪山駅改札口 8:30  
 コース：近鉄瓢箪山駅～横小路町～箕後川～大滝～水  
 平道～鳴川峠～近鉄瓢箪山駅  
 所要時間：6時間  
 地 図：2.5万分の1「信貴山」  
 申込み：1月31日(日)迄(担当：茂木完治)

**20-45 関西支部スキーツアー**

**全国山岳古道調査に協力を！**

日本山岳会創立120周年記念事業として、以下のス  
 ケジュールで「全国山岳古道調査」が始まります。

- 2020年10月～2021年3月で、古道をリストアップ
  - ・支部枠：各支部から地元の古道を3～5件推薦
  - ・本部枠：本部の委員会・同好会から各3～5件推薦
  - ・個人枠：会員個人により最大3件まで推薦
- 2021年12月に本部枠・個人枠と合わせて120本の古  
 道を選出
- 2024年3月までに選ばれた古道を調査し、踏査しま  
 す。
- 2025年10月までに踏査内容をHP掲載及び書籍制  
 作される予定です。
- ※支部からの古道推薦を行うため、関西支部では、プ  
 ロジェクトチームを編成します。

**<対象となる古道>**

1. 全国の山岳古道(旧道・廃道)、山に関わる道

2. 経済(塩、食料、肥料、燃料、鉱山)、信仰、軍事、政  
 治、交通路(街道、裏街道)で利用されていた古道
3. ストーリー性(文学、伝説、史実、詩歌など)があ  
 る古道
4. 遺跡や石碑等が残る古道
5. 出来る限り、いま脚光を浴びることなく、整備さ  
 れておらず、忘れ去られようとしている古道

**<関西支部会員へのお願い！>**

- 古道に詳しい会員、調査に興味を持たれた会員は、
- 関西支部の下記メールアドレスに連絡下さい。  
 (kansaijac@canvas.ocn.ne.jp)
  - 関西支部宛の郵送でも受け付けます。  
 〒530-0015  
 大阪市北区中崎西1-4-22 梅田東ビル3階 304号室  
 日本山岳会関西支部
  - 推薦したい古道があれば、上記同様連絡下さい。

「ハチ北スキー場」

日 時：2月19日(金)～20日(土)

集 合：新大阪&三宮

コース：往路 新大阪発8時～三宮発9時  
復路 スキー場発17時～三宮着19時50分～新  
大阪着20時50分

備 考：新大阪発三宮経由バスツアー利用  
一泊二日夕朝食・リフト券二日分付  
22000円から23000円程度予定(GO TOトラベ  
ル施策延長の場合、費用変更あり)  
日帰りでの参加も可能

申込み：1月19日(火)迄(担当：小黒節郎)

#### 20-46 雪稜シリーズ②

「白川郷 猿ヶ馬場山」

日 時：2月20日(土)～21日(日)

備 考：テント泊。スノーシューやワカンが活躍する  
山行。詳細は申込者に連絡します。

申込み：1月23日(土)迄(担当：江村俊也)

#### 20-47 六甲山を歩く

「おすすめ、黒岩尾根からの絶景」

日 時：2月21日(日)

集 合：JR新神戸駅1階東詰め 9時

コース：新神戸駅～布引雄滝～布引貯水池～市ヶ原～  
黒岩尾根取付き～P606～摩耶山三角点～旧  
天上寺跡～青谷道～阪急王子公園駅

地 図：2.5万分の1「神戸首部」

備 考：歩行距離約11km 歩行時間約5時間(休憩除  
く)

申込み：2月15日(月)迄(担当：松仲史朗)

#### 20-48 ゆるやか山行【里山探訪2】歴史と文化を訪ねて

「東おたふく山697m・ガベノ城483m」六甲山系の山

日 時：2月25日(木)

集 合：阪急芦屋川駅前広場 8時20分

コース：阪急芦屋川駅BS～東おたふく山登山口BS～

石の宝殿～奥池～ガベノ城～鷲林寺南口BS

地 図：2.5万分の1「宝塚」

備 考：歩行距離約10km 歩行時間約5時間

申込み：2月16日(火)迄(担当：久保和恵)

#### 20-49 しっかり歩こう

湖北の山「雪の赤坂山・三国山」

日 時：2月27日(土)

集 合：JR湖西線マキノ駅 8時50分 9時06分発の  
バスに乗車

コース：マキノ高原～赤坂山～三国山

地 図：2.5万分の1「駄口」「海津」

備 考：雪の状態により下山コースは未定

アイゼン等必携

申込み：2月18日(木)迄(担当：山内幸子)

#### 20-50 月例会(2月)

「大和三山巡り」

日 時：2月27日(土)

集 合：近鉄大和八木駅改札口 9時

コース：近鉄大和八木駅～耳成山～藤原宮跡～天香久  
山～橿原市昆虫館見学～畝傍山～近鉄橿原神  
宮前駅

地 図：2.5万分の1「桜井」「畝傍山」

備 考：やや健脚向け。

歩行時間約6時間(休憩、昆虫館見学含む)

歩行距離12km

申込み：2月20日(土)迄(担当：茂木完治)

#### 20-51 岩場トレーニング

「六甲山・蓬莱峡」

日 時：2月28日(日)

集 合：阪急宝塚駅前バスターミナル9:00(冬季バス  
運休のためタクシーで行きます)

備 考：岩登り(担当：江村)、岩場歩き(担当：茂木)

申込み：2月21日(日)迄(担当：茂木完治)

#### 20-52 雪稜シリーズ③

「富山 初雪山」

日 時：3月13日(土)～14日(日)

備 考：テント泊。スノーシューやワカンが活躍する  
山行。詳細は申込者に連絡します。

申込み：2月20日(土)迄(担当：江村俊也)

#### 20-53 沢登り例会

「熊野・尾川川の赤倉谷(中級・谷中泊)」

日 時：3月20日(土)～21日(日)

集 合：車で行きます。詳細は申込者に連絡します。

コース：20日 11時 赤倉集落集合～三ツ滝付近で泊

### —安全登山座学／安全委員会—

山で急に病気になったりケガの場合の緊急対応  
について学びます。

日 時：3月7日(日) 13:00～16:00

場 所：関西支部ルーム(人数により場所変更する  
こともあり)

担 当：江村俊也(国際山岳医)

申 込：2月28日までに江村まで

21日 泊地～丸尾山～赤倉集落解散

地 図：2.5万分の1「木本」「七色貯水池」

申込み：3月13日(土)迄(担当：茂木完治)

**20-54 ゆるやか山行【里山探訪2】歴史と文化を訪ねて**

「太郎坊宮・赤神山350m・箕作山372m・小脇山373.4m」

日 時：3月25日(木)

集 合：近江鉄道太郎坊宮前駅改札口前 10時

コース：太郎坊宮前駅～太郎坊宮・赤神山～箕作山～小脇山～十三仏～万葉の森・船岡山～近江鉄道市辺駅

地 図：2.5万分の1「八日市」

備 考：歩行距離約8km 歩行時間約4時間  
青春18切符利用可能日です。

申込み：3月16日(火)迄(担当：久保和恵)

**20-55 月例会(3月)**

「高円山461mと若草山342m」

奈良市街展望と春日山原始林

日 時：3月27日(土)

集 合：近鉄奈良駅 行基噴水前9:00

コース：近鉄奈良駅～高円山(火床からの展望)～春日山遊歩道～若草山(三段目の山からの展望)～

近鉄奈良駅

地 図：2.5万分の1「奈良」

申込み：3月20日(日)迄(担当：黒田記代)

**20-56 岩場トレーニング**

「六甲山・蓬莱峡」

日 時：3月28日(日)

集 合：阪急宝塚駅前バスターミナル9:00 (冬季バス運休のためタクシーで行きます)

備 考：岩登り(担当：江村)、岩場歩き(担当：茂木)

申込み：3月21日(日)迄(担当：茂木完治)

**申込み先一覧**

江村俊也	tobi.osaka@me.com
小黒節郎	setsuro.oguro@nifty.com
久保和恵	uncletorys05-kazu@nifty.com
黒田記代	kuroda2822@kcn.jp
辻 和雄	tsuji.kazuo.b@gmail.com
松仲史朗	mgjqk966@ybb.ne.jp
茂木完治	yib03510@nifty.com
山内幸子	sacchama2f0710@yk2.so-net.ne.jp
関西支部	kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp

**2021年1月～3月 自然保護行事案内**

**1. 日本山岳会関西支部 本山寺山の森森づくり活動(本山寺山森林づくりの会活動)**

活動日 1月3日(日)、1月17日(日)、1月28日(木)、  
2月4日(木)、2月21日(日)、3月4日(木)、  
3月21日(日)

予備日 雨天など中止の場合、別途設定日予定

作業内容 倒木整備、人工林林床整備、常緑広葉樹除  
伐整備、土留棚積、歩道保全整備など

集 合 JR京都線高視駅北 アルプラザ前 8時40分

\*体験作業、森林観察、入会歓迎です

**2. 東お多福山ススキ草原復元活動(東お多福山草原保全・再生研究会活動)**

活動日 2月27日(土)

予備日 雨天など中止の場合 翌週同曜日

作業内容 全面刈払いなど

集 合 JR神戸線芦屋駅南口 8時30分

**3. 自然視察会・森林観察会**

●本山寺山の森観察 体験参加見学

期日 集合 上記本山寺山森林づくりの会活動日と同じ

●東お多福山観察会

1月28日(木)、2月20日(土)、3月25日(木)

集合9時(平日は10時) 東お多福山登山口バス停

**問い合わせ・申込み先**

斧田一陽(全般)

☎/FAX 072-633-6556、090-4037-4542

武田壽夫(本山寺山の森)

☎090-2042-9101

田島聖子(東お多福山活動、観察会) ☎078-411-3837

締切 開催日の一週間前まで

**本年度の新年会はコロナ禍により  
開催を見送ります。**



# 山岳雑誌 岳人

山と人、時代をつなぐ山岳雑誌「岳人」



毎月  
15日  
発売

【1月号 特集】上高地とウェストン

★モンベルのウェブサイト、全国のモンベルストアや書店にて発売中!

価格880円(+税)

▶年間購読がおすすめ

購読割引 送料無料 限定品プレゼント

通常価格  
12冊

10,560円(税抜)  
→  
11,616円(税込)

年間購読  
12冊

9,680円(税抜)  
10,648円(税込)

1冊分  
おトク!

年間購読のお申し込みはこちらから!>>>

<https://www.gakujin.jp/>



全国の  
モンベルストア  
でも受付中!

お問い合わせ  
モンベルポスト



0120-982-682 / TEL 06-6538-5797

※フリーコールは携帯・IP電話からはご利用いただけません。

## 抜群フィット感で疲れにくい 快適ソックス「フィッツ」!



- オーストラリア産の高品質なメリノウールを使用
- 立体縫製で唯一無二のフィット感を提供。
- フルパイルで暖か、極上の履き心地。



厚手で冬山にも最適!

ヘビーエクスペディションブーツ ¥2,960+税

輸入元: (株)ケンコー社 TEL: 06-6374-2788

※2020年秋冬カタログをご希望の方は、弊社までご連絡くださいませ。

### 登山用品専門店 ロッジ

ハイキング用品から本格登山・クライミング用品まで、最新の山登り道具をたくさん揃えています。経験豊富なスタッフ一同、100%接客をモットーに皆様のご来店を心よりお待ちしております。

ハイキングも登山も冬山も  
みんなロッジにおまかせ!

大阪店 TEL 06-6341-5578  
大阪市北区梅田1-2-2 大阪駅前第2ビル 1F

京都店 TEL 075-222-0363  
京都市中京区御池通高倉西入高宮町200  
千代田生命御池ビル1階

営業時間 11:00 ~ 20:00

ロッジプレミアムショップ  
楽天 <https://www.rakuten.co.jp/e-lodge-2>  
Yahoo <https://store.shopping.yahoo.co.jp/lodge-premiumshop/>  
ブログ <http://blog.goo.ne.jp/lodge4>  
ロッジ オフィシャルサイト <https://www.e-lodge.jp/>

URL=QR

### 〈編集後記〉

☆「山は逃げない」という言葉を耳にしますが、年齢を重ねると共に登れない山もちらほらと出てきて、実際には逃げていくものです。そう考えると、やはり、この身動きがとりづらいコロナ禍は、登山者から山に登る機会を奪っているともいえます。この1年、自分としては変わらず山に登ったと思いますが、さて、来年はとなると、もはや不透明感でいっぱいです。2021年は、誰に気兼ねなく存分に山に登りたいものです。(加藤)

第182号 2020(令和2)年12月10日 発行

発行所 〒530-0015 大阪市北区中崎西1-4-22

梅田東ビル 3階 304号室

公益社団法人 日本山岳会関西支部

e-mail: [kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp](mailto:kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp)

郵便振替口座 00930-6-55950

発行者 茂木完治

編集 加藤芳樹 中村三佳

制作 株式会社 双陽社 大阪市北区堂島2-2-28

私たちは  
人と自然をつなぐ道具を  
提案します。

**IWATANI-PRIMUS**  
イワタニ・プリムス株式会社  
[www.iwatani-primus.co.jp](http://www.iwatani-primus.co.jp)  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-12-20